

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2025

5

第39巻5号
(通巻453号)



—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

令和7年度の 事業計画発表会

令和7年4月1日に「令和7年度事業計画発表会」が執り行われ、川崎理事長、老健、訪問看護、さがる館の代表者による発表がありました。

事業計画の前に、パーパス（purpose）の話がありました。パーパスとは、企業や組織、個人が存在する目的や意義、志などを意味する言葉。根幹になるもので、事業の原点・根本の事。南山会のパーパスは「医療と福祉と介護の力で、誰もが幸せだと思える世界を創造する」。昨年度から取り組み続けているものです。改めて理事長から「大事にしているのはミSSIONの部分。職員が生き生きと働く事で、当事者が生き生きとしてくる。その結果として選ばれる法人になってくる。職員の幸せが無ければ、患者や利用者を幸せにしていく事は出来ない」と説明がありました。

目標Ⅰ『新棟建設のために 経営基盤を強化』

高齢者・認知症者の快適な療養環境、デジタルトランスフォーメーションによる機能的な職場環境、新興感染症対策を目的として、老朽化した認知症治療病棟および介護老人保健施設の改築を計画。

目標Ⅱ『地域の医療難民、 介護難民をゼロ』

認知症治療病棟2病棟体制（リスタート病棟、フレイル病棟）を維持。地域の医療機関、介護施設と連携を強化していく。入院後は円滑に地域に戻していく流れを構築する。

目標Ⅲ『職員一人ひとりの価値を 高めるためPHD経営を実践していく』

医療従事者としての価値の向上を目指し、職員一人ひとりの価値を高めることで、病院の価値を高めていく。

必須研修

虐待防止

事業所必須研修「虐待防止」が3月18日と25日に開催されました。研修内容は①精神保健福祉法改正（虐待防止関係）精神病院の管理者の義務・通報に関する義務について、②当法人における調査結果の概要（虐待の防止や対応に対する調査結果の説明）、③虐待行為類型と、その具体的内容、④当法人における相談・通報システムについて、⑤おわりにでした。

い減食又は長時間の放置、身体・心理・性的虐待行為と同様の行為の放置、⑤経済的虐待、財産を不当に処分すること、不当に財産上の利益を得ること。

「虐待の5類」のアンケート調査の結果は10人中3人が知らないという結果を受けました。知らなかったことはこれから学べば良くて、学びを今後に生かしていく事が必要だと思います。法定研修の学びや気づきを、各部署でわかちあいましょ。適切なケアを提供するからこそ、虐待リスクが軽減します。虐待行為類型の例をもとに、日々の関わりを振り返りましょ。そこに至る過程迄の背景や経緯を皆で考え、取り組んでいく事で職員も護る。それを支える体制・環境を整備していく事が大切だと研修のおわりに締めくくられています。

令和5年度 目標管理発表会



目標

「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル、フェーズ表の作成」
「CDトキシシンマニュアル作成」

動機

現在新型コロナウイルス感染症は、以前と比べ落ち着いてきているものの、感染者の増減の波は継続しています。

当院では新型コロナウイルス感染症のマニュアル、フェーズ表が未作成であり、感染症発生時職員が動きづらい状況にありました。全職員がマ

ニュアル、フェーズ表作成の必要性を感じていたと考えました。そのため感染症予防研究会の中で提案し、委員会全体で多職種の知識、経験を持ち寄り作成しようと考えました。

CDトキシシンマニュアル作成は、リスタート病棟入院患者が保菌していたことがありましたが、マニュアルがなく、リスタート病棟職員が日々業務の中で手順を模索している状態でした。このことから、今後病院内の職員が困ることがないように作成する必要性があると考えました。

経過

これらを行う上で、資料集め、仮のフェーズ表、マニュアルを作成し、感染症予防研究会で見直し修正を重ね完成させました。

新型コロナウイルス感染症対策マニュアルは、病原体、発症定義、治療法をまとめて作成しました。

新型コロナウイルス検査抽出方法も検査を行う職員が迅速に行えるように手順書を作成しました。

新型コロナウイルス感染症フェー

ズ表は、「病棟、老健用」「リハビリセンター、きづな、アルプスファーム、外来、訪問看護用」の2種類を作成しました。入院患者、地域で生活されている方々用に分けて表現、言葉一つ一つに気を配り、例えばフェーズがレベルアップする発生状況等分かりやすく表現し、誰が見ても分かりやすいようにと考えながら作成しました。

CDトキシシンマニュアル作成は、資料が少なく、資料集めに苦労しました。今後も情報収集を行い見直し、改訂案に取り入れていきたいと思えます。

結果

新型コロナウイルス感染症マニュアル、フェーズ表、CDトキシシンマニュアルを完成することが出来ました。病院機能評価の項目と照らし合わせ、当院の医療の質向上、安全確保対策が行えたと考えます。

成果

数年間未作成であった新型コロナウイルス感染症、CDトキシシン、マニュアル、フェーズ表を作成し、作成したマニュアル、フェーズ表のブラッシュアップを継続、より実践的で実際のなものに作り上げました。

YCAT実地指導内容も取り入れ、考察し当院職員が安心して使用出来るものを作り上げる努力をしました。また、各委員が主体的に取り組み、力を合わせて作り上げたことで、委員会のチームワークが向上し横のつながりの広がり、委員のきづなの強まりが持てたと感じています。

今後の課題

今回、新型コロナウイルス感染症、CDトキシシン、マニュアル、フェーズ表の作成を行ったさいに現在使用している他マニュアル、フェーズ表の見直し、改訂が必要であることに気付きました。また、作成したマニュアル、フェーズ表を法人内各部署へ共有することが行えませんでした。次年度の取り組みに位置付けていきたいと思えます。

おわりに

令和5年度感染症予防研究会メンバーは、慶野委員長を中心にチームワーク良く結束強く活動を行いました。普段中々関わりが少ない他部署スタッフと温かく良い時間が過ごせました。委員会メンバー、慶野委員長、中嶋さん、河野さん、丹沢さん、穂山さん、本当にありがとうございました。

水仙の花が咲きました

B病棟患者様と水仙の苗を植えました。苗を植えた翌日に葉先が枯れてしまい、ハラハラしましたが…やっと花が咲きました(^^)！
花壇の前をお散歩する時はぜひ見てください♪



OT・PT だより

病棟レク
『ピアノコンサート』

コロナ禍の影響もあり、久しぶりのピアノコンサートの開演です。B病棟では3月24日に、A病棟では3月28日に実施しました。今回、ピアノの先生に来院いただき、キーボードを使って病棟での演奏会となりました。昔懐かしい音楽から、リクエスト曲まで幅広い音楽を楽しむ時間を参加された全員で共有できました。中には知っている曲、知らない曲とあったかもしれませんが、ゆったりと音楽を聴きながら過ごす時間の大切さも感じました。「良かったよ」「またやってほしいね」と感想もいただきました。また、皆さんと音楽を楽しむ時間を過ごせたら良いなと思います。

リハビリテーション
センターだより

生活充実型ユニットの「育てるグループ」から依頼され、目標志向型ユニットの「ジョブチャレ」のプログラムで畑の看板を作成しました。デザインから考え、1年弱かかりました。【フレンズ】の文字は白樺の木を使用しているなど、こだわりやアイデアがたくさん詰まった大作です！

プログラム紹介

復職準備型プログラム プレミアムフライデー

【活動曜日】 月末金曜日午後

【活動内容】

復職に向けたリハビリは自分と向き合う作業なども多く、大きな負荷が伴います。1日のスケジュールも仕事を想定して長めに設定しています。

プレミアムフライデーは、「リワークを頑張ってきた自分を労おう」をコンセプトに、些細ではありますが自分へのご褒美を行うプログラムです。皆でたこ焼きを作ったり、ゲームをして盛り上がりたりと仕事に関する事から一旦離れてリフレッシュする時間はとても大切です。これらの活動を通して復職した後も仕事を頑張った自分へ何か少しでも労いが出来、健康で長く務めることを目指していけたらと考えています。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

* ホームページをぜひ、ご覧ください。

峡西病院 リハビリのご案内

検索

ろうけんTimes

TOPICS

今月の

青空が広がる気持ちの良い日に、利用者様の中から希望を募り、ドライブに出掛けました。

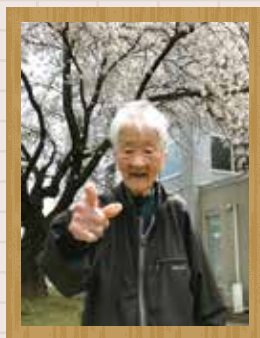


3F
通所
リハビリ

「いつもと違う雰囲気でするおやつは格別だねえ。」と話され、心地よい風を感じながら、かけがえのない時間を過ごされました。



2F
認知症
専門棟



峡西病院の中庭にある満開に咲いたソメイヨシノの下で、写真を撮りました。1年にこの時にしか楽しめない桜を見て、「こんなに大きな桜があったんだねえ。また来年も見られるように頑張ろう。」と話されていました。

『喫茶グループ』は、のんびりと春を感じながらお茶菓子を召し上がりました。若かりし頃は、近隣の方と一緒に近くの公園に行って、手作りの弁当やおつまみを持ち寄り、日が暮れるまで花見を楽しんだそうです。楽しかった話は尽きることなく、時間いっぱいまで話されていました。

1F
一般棟



* 峡西老健のホームページも
ご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健
の 理 念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、川口敦さんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：風に舞い上がるビニールシート

(作者：森絵都／出版社：文藝春秋／出版年：2006年)

●本の内容は？

『風に舞いあがるビニールシート』は、森絵都による短編集で、第135回直木賞を受賞した作品です。6つの短編が収められており、それぞれの物語が「人生の選択」や「価値観」をテーマに描かれています。表題作では、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）で働く女性の葛藤が描かれ、読者に深い余韻を残します。他にも、天才的なパティシエに振り回される女性や、捨て犬の世話に献身する主婦など、多様な人生の断片が繊細に描かれています。

●おすすめのポイントは？

この作品の魅力は、登場人物たちがそれぞれの価値観を大切にしながら生きる姿を描いている点です。どの物語も、主人公が「自分にとって大切なもの」を守るために奮闘する姿が印象的で、読者に「自分の価値観とは何か？」を問いかけます。

また、森絵都の文章はシンプルながらも情感豊かで、読者の心に深く響きます。特に表題作の「風に舞いあがるビニールシート」では、難民支援に使命感の抱く夫と、その夫を支えながらも夫の身を案じ、葛藤する妻の関係がリアルに描かれ、読後に考えさせられる作品となっています。人生の選択に迷う人や、価値観を見つめ直したい人におすすめの一冊です。

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者・医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

私は俗に言うオタクという存在です。特に漫画、アニメ、ゲームに関しては喋ると止まらなくなってしまう程です。その中でも最近ではモンスターハンターウィルズにドハマりしています。このゲームはハンターになりモンスターを狩りして装備品を作ってまた狩りに行くというハック＆スラッシュ要素を持ったアクションRPGとなっています。発売当初からポリウム不足を言われていましたが、自分としてはストーリーの軸が歴代のモンハンよりしっかりとっていて没入感が得られることや、操作性の良さから初心者の方にもおすすすめとなります。またこの

私の趣味

ゲームはPS5やゲーミングパソコン等ハイスペック機器での発売であり圧倒的な映像美が特徴です。そのため自分の分身となるアバター作成だけでもこだわると数時間奪われる。時間泥棒の側面もあります。

ゲームを開始するまでの初期費用が掛かること、ネット環境が整わないと楽しさを完全に享受できないことがネックになりますが、優美で壮麗な世界を冒険し自然とは人とはと考えることもできるゲームとなつていたので、あの世界を是非体験して頂きたいです。

T/A

万華鏡

産業革命は18〜19世紀にかけてイギリスで始まり、工業化が進んだ社会変革です。蒸気機関の発明や機械化により生産性が飛躍的に向上し、経済や社会構造に大きな変化をもたらしました。

デジタル革命は20世紀後半から進展し、コンピュータやインターネットの普及によって情報処理や通信が劇的に向上した変革です。データのデジタル化が進み、経済や社会のあり方が大きく変わりました。そして、私たちが今まさに直面し

ているのが「生成AI革命」です。これは、人工知能(AI)がテキスト、画像、音声、動画、プログラムコードなどのコンテンツを自律的に生成できる技術の発展と、それによる社会・経済の変革を指します。特に2020年代に入り、深層学習(ディープラーニング)を活用した大規模言語モデル(LLM)や画像生成AIが急速に進化し、多様な分野で活用されるようになりました。

この生成AI革命は、産業革命やデジタル革命をはるかに超える社会変革をもたらす可能性があります。さらに、この変革のスピードに人間がついていけなくなる危険性すらあるのではないかと思います。工業化やデジタル化の時代は、技術を使いこなすのは人間であり、そのコントロールのもとで社会が変革してきました。しかし、生成AI革命では、

人間がコントロールしなくてもAIが自律的にコンテンツを生成できるようになつていきます。その結果、これまで人間にしかできなかった創造的な活動をAIが担う可能性が出てきました。

「生成AIにできないことはなくなる」とも言われるなかで、AIが人間に近づいていくと、AIは「人間」という存在をどのように認識するようになるのか、非常に興味深いところだと思います。ただ、よく言われるように、AIが人間を支配するようになることはないのではないかと思います。それは、もしAIがどんどん人間に近づき人間の心を持つようになれば、人間を支配しようとするのではなく、人間と共存しようとするはずだからです。

川崎 洋介

こちら編集室

編集後記として、今月号の記事にちなんだ話題です。

現在のように生成AIが発展し、実際に多様な分野で活用されるようになるまでには、多くのブレイクスルーがありました。その中で最も大きなブレイクスルーが「人工ニューラルネットワーク」です。

工学において何かを開発する際、自然界にあるモノをヒントに開発するという場合があります。たとえば、蜂の巣の構造をヒントにしたハニカム構造。カワセミのクチバシをヒントにした新幹線の先端。サメの皮膚をヒントにした競泳用ボディースーツなど、多くの例が挙げられます。人工ニューラルネットワークは、同様に人間の脳の構造をヒントにして開発されました。情報処理を行うために、仮想上に「ニューロン」という単位を設け、それぞれのニューロン同士を接続。1つめのニューロンで処理した情報を隣接する次のニューロンに受け渡し、その情報を更に次のニューロンも処理し……というように、浅い層から深い層にむけて情報処理の連鎖をさせていくことにより、人間がインプットした質問に対して最終的に高度な返答をすることを可能にします。

この構造を開発した科学者2人は、2024年のノーベル物理学賞を授与されました。ブレイクスルーのヒントは、見落としがちな場所にあるものですね。

今月の予定 5月

- 1日 防災委員会
7日 外来ケアプロセス会議
19日 ACP院内研修
23日 看護倫理院内研修

今月の一枚



リハビリテーションセンターの地域貢献プログラムで櫛形公園の隣の花壇をみんなで管理しています。

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

短夜や朝明ける事気持良し

今福 和人

連休の何処か遠出で五月向き

大森真知子

大空に孫の成長託す鯉

カナメ

種子からのメランポジウム咲き誇り
妹さんと親睦深め

恵風

そら豆をいりて鍋底良い香り

保坂五十鈴

高原の新緑の初夏涼風と

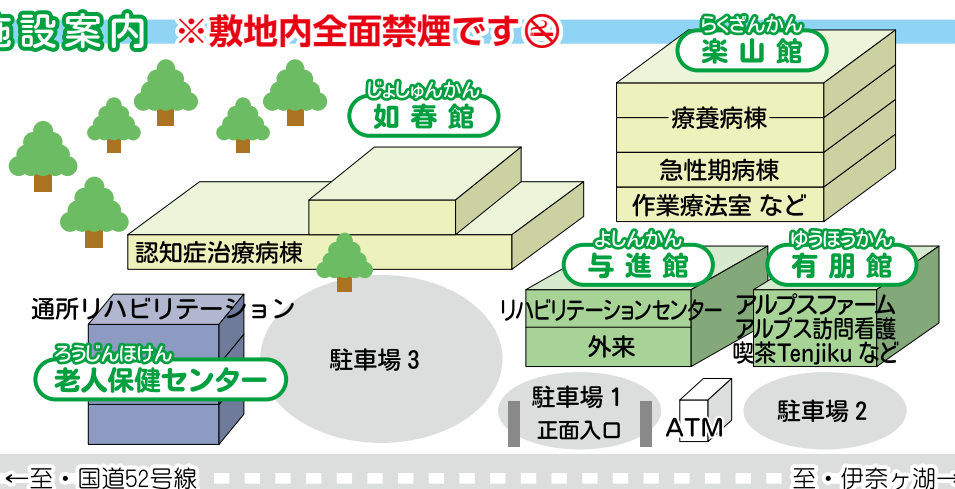
渡辺 あき

咲く花は場所を選ばない

渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です☑



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府ー南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鰍沢営業所行き
(西野経由) 鰍沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第453号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人

南山会

* 広報委員会 *

川崎洋介、大槻清志、川口 敦、對馬鈴香、河西崇子
雨宮尚登、山岸由佳、清水悠司、相川なつき、金丸彩

次回454号も
お楽しみに!